

諏訪清陵高校の目指す学び ー概念図ー

21世紀の世界、日本、地域（長野県・諏訪圏）を担う

科学教育の伝統

- 三澤勝衛先生の教えと科学会
- 理科教育振興基金などによる地域からの支援
- SSH（スーパーサイエンスハイスクール）14年間の蓄積

百二十年の伝統の継承

自治の伝統

- 学友会
- 談論会（討論会）
- 自主性を尊重した部活動

100年を超える歴史

- 自治、質実剛健、勤勉努力（三大目標）
- 自反而縮雖千萬人吾往矣（校是）
- 日本一長い校歌
- 端艇大会、湖周マラソンなど

実物に触れ
自分の頭で考える

課題探究

- 《思考力、判断力、表現力の育成》
- 教科「情報」による「学び方の学び」
 - 「総合的な学習の時間」の活用
 - 全生徒が個人論文を作成
 - 文系理系問わず選択できるより高度な「課題探究」

教科の学習

- 《知識・技能の確実な習得とその活用》
- 授業改革
 - ・脳に汗する、もう一步深い学び
 - ・反転授業、ジグソー法などのアクティブラーニングの研究
 - 自修習慣の確立
 - 習熟度別講座
 - 65分授業

課題発見能力の育成

中高一貫校ならではの
中入生と高入生の切磋琢磨

附属中学における学びの発展

- ICTの活用、アクティブラーニングの全面展開による「深める学習」
- アカデミックコミュニケーション（総合的な学習の時間）などによる思考力、判断力、表現力の高いレベルでの育成
- サタディスパイラルセミナーなどによる一人ひとりの学習要求へのきめ細かな対応

評価の改革

高大接続改革へのいち早い対応

- 大学入試の変更を「てこ」にした大学・高校教育の抜本改革
- いまの中学一年生から実施

ICTの積極活用

※これは清陵高校のあらたな学びのイメージであり、まだ実現していないことも含まれています。また今後の検討の中で変更されることもあります。